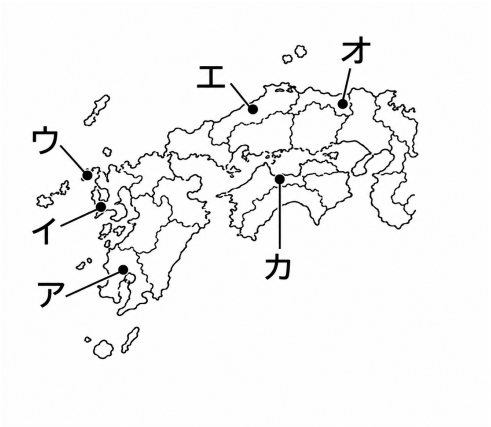
ヨーロッパとの貿易と信仰の広がり

学習日　　月　　日　　点

1　次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

16世紀の半ばから、ポルトガル人やスペイン人の船が、右の地図中の港などにさかんに来航するようになった。当時の日本では、彼らを（　A　）とよび、彼らとの間で貿易が行われた。



① Aにあてはまる語を答えなさい。
（　　）

② この貿易で、日本から最も多く運び出された品物を答えなさい。
（　　）

③ ②の多くを産出し、現在は世界遺産に登録されている鉱山の名を答え、その位置を地図中のア～カから選びなさい。
記号（　　）　鉱山（　　）

④ この貿易が行われた港のうち、平戸の位置を地図中のア～カから選びなさい。
（　　）

⑤ この貿易について述べた文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。
ア　中国産の生糸や絹織物、ヨーロッパの時計やガラス製品が運びこまれた。
イ　平戸や長崎のほか、豊後府内（大分県）なども貿易の港となった。
ウ　Aには、ポルトガル人やスペイン人のほかにオランダ人もふくまれた。
（　　）

2　次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

キリスト教は、九州を中心に人々の間に広まっていった。九州の大名の中には、自ら洗礼を受けて信者になる者も現れた。1582年には、こうした大名が、キリスト教の信者である４人の少年をローマ教皇のもとへ送った。

① 文中の、信者になった大名を何というか答えなさい。　（　　）

② ①の大名がキリスト教を保護したのはなぜか。「貿易」の語を使って書きなさい。
（　　）

③ 文中の、ローマ教皇のもとへ送られた少年たちの使節を何というか答えなさい。
（　　）

④ 次のア～エのできごとを、年代の古い順に並べかえなさい。
ア　九州の大名が、４人の少年をローマ教皇のもとへ送った。
イ　宣教師が鹿児島に上陸し、キリスト教を伝えた。
ウ　バスコ・ダ・ガマがインドに着き、アジアへの航路が開かれた。
エ　中国の船が種子島に流れ着き、鉄砲が伝えられた。　（　　）

解答

1
① 南蛮人
② 銀
③ 記号 エ　鉱山 石見銀山
④ ウ
⑤ ウ

2
① キリシタン大名
② 南蛮貿易の利益を得ようとしたから。
③ 天正遣欧使節
④ ウ→エ→イ→ア